

# ひこね 市議会 だより



## 低炭素社会構築都市宣言承認 一般会計補正予算 4億1,757万7千円 可決など ふるさと彦根応援寄附条例

### 7月臨時会・9月定例会のあらまし

去る7月7日に7月臨時会を開き、彦根市低炭素社会構築都市宣言につき承認を求めることについての議案1件を審議し、原案のとおり承認しました。

9月定例会は、9月1日から19日までの19日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、各会派の代表者および個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は25件で、24件については、いずれも原案のとおり承認・可決・認定・同意しました。なお、平成19年度彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについては、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とすることとしました。また、議会として、中学校給食実施のための特別委員会を設置しました。

議員提出議案は5件で、そのうち4件は原案のとおり可決し、意見書案1件については否決しました。請願1件については、採択しました。



写真は、日米修好通商条約締結150年記念式典での調印式および秋の風物詩・玄宮園で虫の音を聞く会の模様

### 井伊直弼と開国150年祭

*Ii Naosuke - Gateway to the future*

- 7月臨時会・9月定例会の結果 .. 2~3
- 常任委員会の審査状況 .. 4
- 代表質問 .. 5~8
- 個人質問 .. 9~12
- ほかにもこんなことを質問しました .. 12
- 議会改革特別委員会中間報告 .. 13
- 視察報告 .. 14~15
- 中学校給食実施のための特別委員会を設置 .. 15
- 決算特別委員会を設置 .. 15
- 定例会の流れ、傍聴のご案内 .. 16

## 7月臨時会

その他 = 承認

件名	概要
彦根市低炭素社会構築都市宣言につき承認を求めることについて	地球的規模での温暖化問題の解決に向け、市民一人ひとりが低炭素社会の実現を自らの責任として自覚し、温室効果ガスの排出削減を考え、行動していくため、本市を低炭素社会構築都市とすることを宣言するもの。

## 9月定例会

予算関係 = いずれも承認・可決

件名	概要
専決処分につき承認を求めることについて (平成20年度(2008年度)彦根市一般会計補正予算(第2号))=承認	補正予算額:412万円 老人保健事業特別会計の増額に伴う一般会計からの繰出金についての補正
専決処分につき承認を求めることについて (平成20年度(2008年度)彦根市老人保健事業特別会計補正予算(第2号))=承認	補正予算額:5,057万円 医療給付費および医療費支給費の増加に伴う補正
平成20年度(2008年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)=可決	補正予算額:4億1,757万7千円 彦根駅東土地区画整理事業、旧彦根藩松原下屋敷庭園保存推進事業、避難施設耐震化補助事業、介護保険基盤整備事業、障害者自立支援対策臨時特例交付金事業、グループホーム等整備事業等の増額補正 小学校給食民間委託業務の債務負担行為の補正
平成20年度(2008年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)=可決	補正予算額:5,619万6千円 平成19年度介護給付費負担金等の確定に伴い、超過交付分を返還するほか、基金積立に伴う補正

条例関係

条例の制定 = いずれも可決

件名	概要
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	地方自治法の一部改正に伴い、関連する条例の条文の整理を行うもの
ふるさと彦根応援寄附条例案	地方税法等の一部改正に伴い、地方自治体への寄附に対する税制上の優遇措置が導入されたことを受け、より多くの人に「ふるさと彦根」への応援および寄附をしていただくとともに、寄附者の思いを具体化し、活力に満ちた魅力あるまちづくりを進めるため、必要な事項を定めるもの
ひこにゃん活動基金の設置、管理および処分に関する条例案	ふるさと彦根応援寄附条例案に規定するみんなのひこにゃん応援事業に指定のあった寄附金を積み立てるため、必要な事項を定めるもの
彦根市路上喫煙の防止に関する条例案	市民等の身体への被害の防止および財産の保全を図り、市民等の安心かつ安全な生活環境の確保に寄与することを目的に、路上喫煙を防止する条例を制定するもの
彦根市屋外広告物許可手数料条例案	滋賀県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正に伴い処理することとなる事務のうち、屋外広告物の許可にかかる手数料に関し、必要な事項を定めるもの
彦根市開国記念館の設置および管理に関する条例案	地方自治法の規定により、開国記念館の設置および管理に関し、必要な事項を定めるもの

条例の改正 = いずれも可決

件名	概要
彦根市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例案	民法および地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案	公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	公庫の予算及び決算に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

## 9月定例会の結果

件名	概要
彦根市職員退隠料、遺族扶助料、退職給与金および死亡給与金支給条例の一部を改正する条例案	恩給法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市市税条例の一部を改正する条例案	地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例案	地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市下水道条例の一部を改正する条例案	滋賀県公害防止条例施行規則等の一部改正に伴い、除外施設の設置基準を改めるもの
彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

### 決算関係 = 認定、継続審査

件名	
平成19年度（2007年度）彦根市立病院事業会計の決算につき認定を求めることについて	= 認定
平成19年度（2007年度）彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて	= 認定
平成19年度（2007年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	= 継続審査

### 人事案件 = 同意

件名	概要
彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	北澤忠臣氏（平田町） = 再任
	正村禮一郎氏（西今町） = 新任

### その他 = いずれも可決

件名	概要
市道の管理上必要な訴えの提起等につき議決を求めることについて	帰属を受け、道路として占有を継続している土地の名義変更および根抵当権抹消にかかる登記手続を求め、訴えを提起するもの
字の区域および名称の変更につき議決を求めることについて	愛荘町が施行した土地改良事業により、野良田町の字の区域および名称を変更するもの

### 報告

件名	
損害賠償の額の決定について（2件）	
平成19年度（2007年度）彦根市土地開発公社の決算状況について	
平成19年度（2007年度）財団法人彦根市事業公社の決算状況について	
第20期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について	
平成19年度（2007年度）財団法人彦根市文化体育振興事業団の決算状況について	
平成19年度（2007年度）主要な施策の成果、基金運用状況および事務の概要について	
平成19年度（2007年度）彦根市の健全化判断比率等について	

### 議員提出議案

#### 条例・規則関係 = いずれも可決

件名	概要
彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	新会派結成に伴い、議会運営委員会の委員の定数を6人から7人に増員するもの
彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案	地方自治法の一部改正に伴い、議会活動の明確化等を図る規定が設けられたことを受け、所要の改正を行うもの

### 意見書案 = 可決、否決

件名	
教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める意見書案	= 可決
「滋賀県立荒神山少年自然の家の存続」に関する意見書案	= 可決
消費税の増税を行わないことを求める意見書案	= 否決

### 請願 = 採択

件名	
教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	

# 常任委員会の審査状況

7月臨時会では、7月7日に市民文教常任委員会を、9月定例会では、9月11日に産業建設、12日に市民文教、16日に福祉病院、17日に総務の各常任委員会を開催し、議案および請願の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。

7月7日に開催した委員会では、低炭素社会構築都市宣言の審査を行いました。審査では、基本的に賛成だが、具体的な提起をしたほうが、宣言を出した背景など市民に受け止めていただけののではないかとの討論がありました。また、継続審査を求め、継続審査は否決されました。

採決では、原案のとおり承認すべきものと決しました。

9月12日に開催した委員会では、一般・特別会計の補正予算3件および条例の新規制定

9月11日に開催した委員会では、一般会計補正予算1件、条例の新規制定・一部改正2件、議決案件1件および平成19年度水道事業会計の決算認定の計5議案の審査を行いました。

一般会計補正予算の審査では、乗合タクシー運行費補助金の予算計

## 産業建設

上の積算根拠に対する質疑応答がありました。また、平成19年度水道事業会計決算の審査では、有収率、企業債の繰上償還等について質疑応答がありました。

採決では、5議案とも異議なく原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

## 市民文教

2件の計5議案の審査を行いました。

路上喫煙の防止に関する条例案の審査では、喫煙場所の指定等に関する質疑があり、禁止地区での喫煙場所は指定する方向で考えているとの答弁がありました。

また、開国記念館の設置および管理に関する条例案の審査では、展示、開館時間、休館日に関する質疑応答がありました。

採決では、5議案とも異議なく原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

9月17日に開催した委員会では、一般会計補正予算2件、条例改正1件、議決案件1件、計3議案の審査を行いました。

一般会計補正予算の審査では、ふるさと彦根応援寄附事業に関する質疑応答がありました。

また、ふるさと彦根応援寄附条例案の審査では、条例案に規定する6事業の区分、市民等への周知やPR、寄附者の年齢制限等に関する質疑応答がありました。

採決では、13議案とも異議なく原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

教請願の審査では、「教

## 福祉病院

9月16日に開催した委員会では、一般・特別会計の補正予算2件および平成19年度病院事業会計の決算認定の計3議案の審査を行いました。

病院事業会計の決算認定の審査では、保育

所費、材料費および光熱水費等について、また、流動資産と流動負債の関係等についての質疑応答がありました。

採決では、3議案とも異議なく原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

## 総務

資格差をなくし、子どもたちをゆきとど教育を求めるといって、「文部科学省がついて、非常に重要視が私学を非常に重要視されていると同時に、教育基本法の改正に伴い、条文中に私学がうたわれたとの話を聞き、国も私学の重みを感じて「一、江戸時代には多様な私学ができて、その中から非常に熱気に燃えた日本が誕生した。日本は公立という明治以来の一貫教育だったが、いろいろ行きたり詰まりが生じてきた。やはり今一度、私学の重要さを考え直して、公立学校を私学とともに特長を争う時代にすべき」との賛成意見がありました。

採決では、異議なく採択すべきものと決しました。



▲稲枝駅

# 新 公 政 会

質問者 佐野 正博

所属議員：10名

**問** 稲枝駅は、彦根市南部の拠点駅として、稲枝地区や近隣市町の住民が通勤・通学等に不可欠な駅であるが、老朽化が進み駅舎の改築と駅周辺整備が急務であり、市は今年度に駅周辺整備案を作成するための予算を計上されたがその取組状況について問う。また、JRが計画している「バリアフリー新法」では、平成22年度が最終設置年度となっているが、稲枝駅改築に影響するのかわかるか。

**問** 少子高齢化から大都市圏への人口偏在の加速が予想される中、病院やショッピングセンターなどの都市機能を中心市が自然環境や食料生産等の機能を周辺市町が果たし、市町村間で相互連携することで、地方圏での定住自立、発展を可能にするという国の構想を聞く。本市は具体的にどの町と連携を図ろうとするのか。今後どのように推進するのか。全国的にはどのような状況か、詳しい説明を。



**稲枝駅改築整備等の取組状況は**



**駅周辺整備計画案と駅舎改築の現状**

**答** 周辺整備計画案は、企画提案方式により、委託業者を選定し契約を締結したところであり、原案となる計画を整理し地元および関係機関等と調整を図っていく。また、JR西日本では、乗降客が1日5千人以上の駅舎については、22年度中にバリアフリー化の方針を決めることになっているが、稲枝駅舎改築の基本構想を今年度中に示せばその限りでないとの回答を得ている。



**「定住自立圏構想」とは何か**



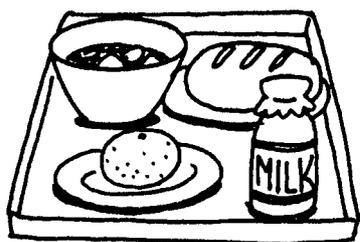
**地方での定住を促進するため**

**答** 全ての市町村にフルセットで生活機能を整備することは困難な時代。集約とネットワークの考え方に基づき、中心市と周辺の町が協定により連携し、医療体制、公共施設や交通インフラの整備、エコロジー社会の創出、地産地消等を促進し、地域の活性化を図ろうとするもの。彦根市、甲良町、多賀町、豊郷町、愛荘町が先行的実施団体として手をあげ、国と協議を重ねていく。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆「地方公共団体の健全化に関する法律」の施行と本市への影響について
- ☆市立病院の経営状況と対策について
- ☆彦根市の広域観光圏整備事業について
- ☆生涯を通じた健康づくりの推進について
- ☆彦根市廃棄物減量等審議会の答申を受けたごみの有料化について
- ☆「彦根市低炭素社会構築都市宣言」以後の市民の責務・自覚・行動及び実践について
- ☆多重債務者の保護対策について
- ☆彦根のさらなる農業振興と今後の対策について





# 新政ひこね

質問者 矢吹 安子

所属議員：7名

**問** 3月議会で厳しい財政状況下の中で、他事業との優先順位の問題やPFI手法への不安、食数の問題等から中学校給食実施の修正案が可決。それぞれの問題点について詳細な再検討や勉強会をし実現をめざすとのこと。PFI手法の再検討から事業費圧縮を図れる要素が見い出せたのか。スケジュールメリットを活かすための方策として、犬上郡3町との勉強会の現在の状況はいかがか。

**問** 隣接する地方自治体同士の連携による観光地づくりを促す「観光地の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」略して「観光圏整備法」が本年5月に成立、7月施行になっている。国土交通大臣の認定を得るとその圏域の事業に対して特例措置や財政投融資など優遇措置の配慮と恩恵がある。彦根市は既に取り組んでいるが、進捗状況と協議会のリーダーシップが必要では。



**中学校給食に関して  
その後の取組は**



**厳しい財政の中、優先順位は高い！**

**答** 安心して働ける社会環境の整備、次世代育成のため、中学校給食の優先順位は高いと考える。事業計画全体で再検討する。事業規模の拡大や光熱水費のリスク分担の見直しを経費圧縮要素になる。PFI手法にとらわれず効率的かつ効果的な手法を検討する。犬上郡3町との勉強会は本市から声をかけている。広域的に実施するかどうかは、重要な事項であり早く結論を出したい。



**広域な観光圏整備法の  
進捗状況は**



**びわ湖・近江路観光圏協議会を設立**

**答** 観光圏整備法による事業に取り組むため、長浜、米原、近江八幡、東近江の各市長と近隣町の町長、一部関係事業者の方々に市長が直接出合い、参画の賛同を得た。8月22日に協議会の設立総会を開き、協議会の名称、蒲生郡から伊香郡までの5市13町を範囲とすること、国への認定申請は、来年2月頃を目指すことが決まった。なお、当面は本市がリーダーシップを担う。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆平成19年度の決算見込みについて
- ☆平成20年度の事業の現状と進捗について
- ☆平成21年度の予算編成について
- ☆世界遺産登録の現状について
- ☆湖東地域広域ごみ処理施設計画について
- ☆廃棄物、埋め立て処理に係わる対策について





▲京橋口駐車場

# ガバナンス21

質問者 有馬 裕次

所属議員：3名

**問** 昨年、彦根城への観光客は88万人と、前年13位から3位に躍進しましたが、今後、彦根城を始めとする市内の文化財等を活用した観光客の誘致を図るべきと考える。また、いは松駐車場を利用されたバス団体観光客に、お城や玄宮園だけでなく夢京橋キャッスルロードや四番町スクエア等まちなか観光をしていただくため、京橋口駐車場の利用を積極的にPRすべきと考えるがどうか。

**問** 現在の図書館は古く狭小で市民の利用は年々減少している。市民のニーズも多様化、専門化し、新しい時代に応えられる図書館が必要である。分供や利用時間の延長など図書サービスの充実が必要と考えるが、市民の利用する声が届いているか。新築移転の考えはあるのか。子どもの読書離れが問題となっている。図書館と学校図書館の充実・活用をどう考えるのか。



**観光客の誘導で、まちなか回遊性を**



**市立図書館改善と学校図書館の問題**



**バスの京橋口駐車場利用をPRする**



**市民のくらしに生きる図書館運営**

**答** 本市は、彦根城を始めとする歴史・文化遺産や夢京橋キャッスルロードや四番町スクエアの新たな観光地など多くの観光資源に恵まれている。これらの資産を活用し、佐和山周辺等やまちなかへの観光客の回遊性を高め、滞在時間を長くするためには、駐車場の位置なり、利用方法は大きく関係することから、バスの京橋口駐車場への利用等について、今後ともPRしていく。

**答** 市民のニーズに応えるインターネットによる本の予約やCDの貸出しを開始した。図書館の整備は定住自立圏構想で取り組めればと思う。学年が上がるほど本を読まなくなる傾向がある。学校では読書活動の充実に向けボランティアの協力を頂いている。児童の図書館見学、郷土資料等の団体貸出し、学習教材の相談等図書館と学校が連携し、子どもの読書活動の充実に寄与していきたい。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆まちづくり基本条例について
- ☆事業仕分け導入をどのように考えるか
- ☆平成19年度経営改革の主な取組結果について
- ☆定住自立圏構想について
- ☆学校教育人事等について
- ☆防災について
- ☆災害時要援護者制度について
- ☆ごみ減量対策について



▲市立図書館



# 日本共産党

質問者 田中 滋康

所属議員：3名

**問** 2月12日議会の代表者会議で病院長は、市立病院産科の再開を報告した。報告によれば、19年3月から医師の退職により産科を中止していたが、4月より県が琵琶湖マザーホスピタル事業として2名の産科非常勤医を市立病院へ派遣することに、体制ができ次第、分娩再開の見通しを明らかにした。派遣医師は部長級以上の先生と聞いているが、いつから再開するのか。

**問** 景気後退局面入りした日本経済、サラリーマンの平均給与は9年連続減少し個人消費は低迷している。本市の市税や国・県支出金抑制により歳入確保には厳しさが増す。ムダな歳出の抑制は当然であるが格差と貧困が広がる中、市民の暮らしは大変であり市民生活を守り住民負担増をしない確固とした方針で予算編成に当たるべきである。歳入確保と基本重点施策として市民にアピールする点は。



**マザーホスピタルで  
産科再開は幻に**



**21年度予算は市民生活を守る立場で**



**医師による分娩再開は困難**



**平成21年度予算編成方針に関して**

**答** ハイリスク分娩受入れは、常勤医3名または常勤医2名に非常勤医1名の十分なバックアップ体制がないとできない。非常勤医の着任をうけ、院内助産所に加え、医師によるローリスクの分娩受入れを協議したが、成人病センターでの仕事の関係上、時間外サポート体制が不十分のため、現在のところ分娩の再開はできない。サポート体制が充実すれば、ローリスク分娩の扱いを考慮する。

**答** 21年度歳入は、今後の社会情勢の見通しがつきにくく先行き全く予断を許さない状況にある。地方交付税も減額が危惧される中、義務的経費の増加は続き事業の選択には優先度、緊急性を見極め選択と集中の徹底による行財政運営に努める。主要重点施策は、彦根市総合発展計画「ひこね21世紀創造プラン」を踏まえ、次世代育成支援対策、安全・安心なまちづくり事業等に取り組む。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆一日も早く医師を招へいし、市民が願う市立病院に
- ☆彦根市の国保は、市民の命綱たれ
- ☆第4期介護事業計画で給付サービスは下げないように
- ☆雇用促進住宅の一方的明渡通告は撤回を
- ☆食の生産基盤を担う農業者への理解と独自の施策を求めて
- ☆広域によるごみ大型焼却炉の建設は中止を
- ☆教育の課題解決にむけて
- ☆子育て支援にむけた保育所と学童保育を





**問** ごみ一人当たりの日量排出量を1kgから900gへ取り組む計画と、現在14%のリサイクル率を28%にする具体策と市民への働きかけは。

山田多津子



**ごみ有料化で減量・資源化は進まず**



**減量化に取り組み有料化も検討**

**答** 古紙や衣類の行政回収を行い、生ごみ処理対策を進め、新たな分別収集の取組と、プラスチックごみの品質向上と、各種団体等に分別や減量に向けて協力を求めていく。  
**問** ごみ有料化の最大目的は減量と資源化であるが、市民に負担をかけることもあると答弁されたが、市民への啓発が先であり、有料化で減量化は進まないのでは。  
**答** 減量・資源化を先に進め、有料化も検討する。

**問** 少年自然の家廃止問題は、今年度自然の家運営委員会でも中心議論となり、誰もが「廃止しないで」であった。存続することこそ、所期の建設目的も運営に対する地域の協力も活きる。今後の方向を決めるのは今年度がヤマである。市の強力な存続要請が必要だ。  
**答** 市内4年生の一泊二日の宿泊体験や特別支援学級の宿泊を通しての交

成宮 祐二



**少年自然の家存続、市は協力要請を**



**必要な施設であり強く存続を求める**



▲荒神山少年自然の家

流、生きる力の育成に大いに役立っている施設である。教育長自らも存続要請に出向いたし、8月には県教委への要望書も提出して存続を求めている。今後ともあることに要望を続けたい。

**問** 路上喫煙防止に関する条例の実施に向けての努力は。  
**答** 条例の目的は市民等の身体への被害防止、財



小林 武



**路上喫煙防止に関する条例の実践は**



**市民の安心安全な生活環境の確保**

産の保全を図り市民の安心安全な生活環境の確保に寄与することである。路上喫煙防止の努力規定は市内全域での適用が必要と考える。路上喫煙防止地区については路上喫煙防止の努力規定ではなく、路上喫煙の禁止が義務付けられることになる。条例案作成には市民等の市政への参加の促進を図りより良い議案を作成するために、パブリックコメントを6月1日から30日間実施し、関心も高くご意見を頂いた。

**問** 「低炭素社会構築都市宣言」を行った市として、他市よりも環境問題に対し、先進的また積極的に具体的な取り組みが必要と考える。市民自らがリサイクル品を搬入できる「エコドーム」の施設を設置しては。  
**答** 市民がペットボトル、びん、古紙等のリサイクル可能なものを、自ら持ち寄る拠点としての「エコドーム」は、ごみ減量

徳永ひで子



**「エコドーム」を設置しては**



**設置に向け研究を進めていきたい**

はもとより市民の環境意識を高めるためにも、有効な施設であると考え。また、「エコドーム」は広い分野にわたって事業展開が期待される施設であり、民間活力の利用も含め研究を進めていきたい。





## 全国学力テスト 結果公表は？

**問** 今回実施された学力テストの結果において、同じような授業をしている中で成績上位の県とは大きな差があるのは何故か、教育長の見解は。

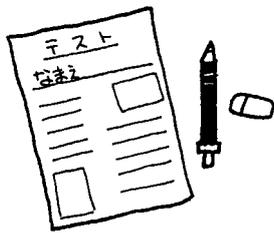
**答** 少人数学級かどうかや家庭での学習習慣に課題があると考え、これに力を入れていく。

**問** 学力テストの結果を公表することで地域の方々にも現在の状況を理解して頂き、地域で子

赤井 康彦

もを育てることにつながるのでは。

**答** 教育の課題を学校や家庭および地域で共有し、連携することは、大変重要であると考え、調査結果の分析や考察についてホームページに掲載するなど早急に検討する。

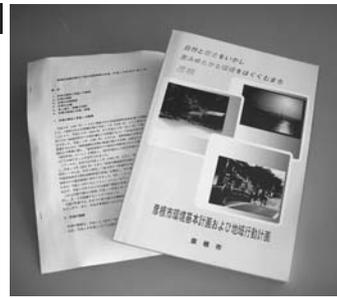


**A** 分析や考察の公表を検討する



## 低炭素都市化への 基本計画は

**問** 市は去る7月に低炭素都市化への方向明示、後は基本計画の作成急務。既にCO<sub>2</sub>削減計画実施中の都市例を見るに「目標数



夏川嘉一郎

値化」「制度条例化」等を掲げ活動中。本市としても宣言都市相応の「削減目標数値化」を主軸とした削減基本計画案の提示が強く望まれるが。

**答** 市行政としては、平成19年改定の実行計画の下、諸施策実施中。また、当市環境施策の基本となる彦根市環境基本計画（13年策定）が22年度終了。現在、次期計画策定に向け準備中。新計画の中で低炭素社会を主目的の一つとし、CO<sub>2</sub>削減目標も定める等検討していく。

**A** 新計画中で大きな柱として位置付け



## 危険なJRガード下の 市道の拡幅を

**問** 通行量等の把握は。詳細な調査は出来ないが530人程の児童生徒が利用している。危険性の認識は。

**答** 車両と歩行者や自転車等、非常に危険と認識。ガード下の拡幅は。

**問** 道路としての高さが4・5m必要で構造的に地下道となり、前後の取付けおよび側道整備等広範囲の用地確保、高額な工事費により拡幅計画は

小川喜三郎



立てていない。また、新たに「人と自転車の通行が可能な通路」の整備は、軌道法や各鉄道事業者の基準により、線路との離隔が必要であり物理的に厳しい。また、他の手法も地下構造となり困難。

**A** 拡幅計画なく新たな歩道設置も困難



## 子どもの携帯電話 所持率は



**問** 「児童・生徒の携帯電話の所持・意識に係る実態調査」を実施されたが、所持率結果と見解を問う。

安藤 博

**答** 小学5年で17・3%、中学3年で43・6%が所持しているが、全国や県の調査平均値より低い。理由として親の反対があると考えられる。

**問** ネットいじめの実態と見解を問う。

**答** ネットいじめを受けた割合は、所持している中学2・3年で約8%で、逆にいじめをした割合も同様であった。教員や家族、友人に相談している子どももいるが、相談できない子どももいるため、対策を講じたい。

**A** 小5で17.3%、中3で43.6%

馬場 和子



▲野瀬川下流部の様子

**問** 未改修状況の把握は。下流部の大藪町地先から西今町地先までの約1kmは暫定改修されたが依然として河川断面不足

**野瀬川流域の現状と改修の目処は？**

**滋賀県へ一層の要望をしていく**

**問** 周辺自治会での浸水状況は把握しているのか。  
**答** 河川周辺の平田町、西今町、開出今町等で道路冠水や床下浸水等の被害の多発を認識している。  
**問** 県への働きかけと今後の改修の目処を問う。  
**答** 早期に改修工事に着手できるように、滋賀県へ一層要望するとともに、用地買収等に協力していく。また開発等の指導を徹底し、流出抑制の措置を講じていく。

北村 収

**問** 国道8号線外町交差点の渋滞解消を図るための国道306号バイパスの早期供用開始のため都市計画道路決定の時期と工事の着工および完成時期と供用開始は。  
**答** 都市計画決定の時期は平成21年の初めで、工事着手は平成23年で、工事完成は一般的に長くて7年程度で完了予定だが、早期に供用開始出来るよう県に要望していく。

**国道306号バイパスの工事着工は**

**平成23年工事着工早期供用開始**



▲国道306号バイパス予定線

**問** 供用開始後の渋滞緩和予測の県の見解は。  
**答** 現在の通行量は一日当たり二万四千台で、本バイパス供用開始後の将来予測交通量は、一日当たり一万三百台の減少が見込まれる。

田島 茂洋



**問** 今後の中心市街地の活性化への事業推進には、国や県の補助支援が必須である。それには、中心

**中心市街地活性化新基本計画策定は**

**策定への活性化協議会設立に支援**

市街地活性化新基本計画の総理大臣認定が課せられている。市としての支援と方針、意欲は。  
**答** 認定作業には、商工会議所を始め事業者、地元住民、学識経験者、行政職員など、多様な主体で組織する中心市街地活性化協議会での協議内容も重視される。市としても、NPO法人、まちづくりに取り組み様々な団体と連携し、特に商店街活性化に意欲と決意をもつて取り組まれる事業者を支援する。

細江 正人

**問** 経営改革プログラムによる削減等効果が19年度は17億7800万円余と報告されたが収支はどうか。  
**答** 国宝彦根城築城四百年祭の実施に伴う収入増や市税の大きな伸びにより新規事業も含め収支の均衡を図れたが残り二年一層の努力が必要と認識。  
**問** 財政健全化のため職員数削減の考えはあるか。  
**答** 歴史まちづくり関連事業をはじめ、観光圏の

**経営改革の進捗と市財政の見通しは**

**目標達成には一層の努力が必要**

整備や定住自立圏構想事業など、新たに取組む施策推進のための組織構成について議論を深め、年次的に職員数の削減に取り組み手法としても行政需要に対応したスリムで簡素な組織を目指す。





## 身近な地域で 良質な介護サービスを

**問** 第3期地域密着型サービス整備の進捗を問う。

**答** 現在、認知症対応型デイサービスセンター3箇所、小規模多機能型居宅介護1箇所、認知症型グループホーム1箇所、地域密着型介護老人福祉施設2箇所の7箇所整備。

**問** 第3期計画の3分の2事業が第4期に繰越された背景は。

**答** 介護報酬や人材確保等の経営面の不安が事業

杉本 君江



## ひこね障害者まちづくりの 具体策は

**問** 二つの障害者施設が旧金亀荘を賃借要望しているが可能性は。

**答** 旧金亀荘跡地利用計画の一つと考えられるがさまざまな課題があるため、建物解体を含めた土地活用等とも併せて時間をかけて検討したい。

**問** 障害者の環境整備はひこね障害者まちづくりの一環ではないか。

**答** 彦根市障害福祉計画においても、障害者の就

辻 真理子



者の参入を見合わせる背景と考える。

**問** 第4期事業計画策定に向けた事業推進は。

**答** 事業者が参入可能な環境整備に努め、国に報酬の見直しを要望し、また介護基盤の充実を図る。



▲旧老人ホーム金亀荘

労支援や日中活動の場の提供に係るサービス提供事業所等の基盤整備を促進していくこととし、今日までも事業所支援に取り組んできている。



### 持続可能なサービスの提供をめざす



### 障害者の就労支援や日中活動の促進

## ほかにもこんなことを質問しました

- 7月臨時会
  - ☆議案第73号彦根市低炭素社会構築都市宣言につき承認を求めることについて (5人)
- 9月定例会
  - ☆指定管理者制度の総括について
  - ☆防災問題について
  - ☆地上デジタル放送問題
  - ☆後期高齢者医療制度は廃止上申を
  - ☆平成19年度市立病院決算について
  - ☆まちづくりについて
  - ☆教育について
  - ☆公共交通について
  - ☆市職員勤務について
  - ☆障害者施策の充実を求め
  - ☆住民の交通手段を守るために
  - ☆雇用促進住宅の退去困難者への支援について
  - ☆ふるさと彦根応援寄附条例とひこにゃん活動基金について
  - ☆デマンドタクシー試行事業について
  - ☆放課後子どもプランについて
  - ☆放課後児童クラブについて
- ☆天王山配水池改築工事の進捗状況と配水池の役割について
- ☆市有地の有効活用について
- ☆彦根市低炭素社会構築宣言を施策に活かすために
- ☆景観を維持し、活かしていくために早急な手立てを
- ☆本市、児童の「学力」の低下対策について
- ☆新学習指導要領に基づく体験学習について
- ☆環境優先時代下でのダム建設の是非について
- ☆不登校の現状と対策について
- ☆公有地の有効活用について
- ☆市長の政策実現について
- ☆農業等化学物質の取り扱いについて
- ☆今後のひこね市文化プラザ運営について
- ☆児童・生徒数増加対策に関して
- ☆市民がつくる安心と躍動のまち彦根の実現に向けて
- ☆議案 第98号 平成19年度(2007年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて



## 高齢者同居家庭の推進を

**問** 介護保険の利用を少しでも減らせば、介護保険料の値上げは抑制できるのか。

**答** 介護保険のサービス利用が減少すれば、国、県、市による公費分担も介護保険加入者の保険料も抑制される。

**問** 施設待ちの人が少なくなるか。

**答** 介護を必要とする者が介護保険を有効に活用し、また、家族による介

松本 忠男

護を受けることにより、在宅で日常生活を送ることが可能であれば、施設に入所する必要はないので、施設入所待ちの人は減少することになる。



### 介護施設入所待ちが減少する

議 会 改 革 特 別 委 員 会 中 間 報 告

7月11日および8月22日に委員会を開催し、議員定数等について協議しましたので、その概要を報告します。

7月11日の概要

議員定数の議論に関する時期について

4月25日の委員会で、今後は議員定数を削減する方向で協議することを決定して以来の委員会であり、委員からは、時期を決めて早く具体的な削減数の議論をすべきであるとの意見が多数出されました。委員長からも議員定数の議論に関する時期の設定について提案があり、協議の結果、本委員会としては12月定例会に議員定数の議案を諮れるよう本委員会を進めていくことを確認しました。

予算委員会の設置について

懸案事項の中で最優先課題となっている議員定数以外の課題として、議長から話のあった予算委員会の設置について協議をしました。その結果、優先的に取り上げ、協議を進めることを決定し、今後、名称も含め協議を進め、設置については12月定例会に提案できるよう本委員会を進めていくことを確認しました。

8月22日の概要

議員定数の削減数について

今回は、議員定数、予算委員会、審議会・協議会への議員の就任等を議題に、主に議員定数について協議をし、各委員から具体的な数に関する意見等が出されました。委員の発言概要は次のとおり。

● 個人的な意見だが、大切な役割を果たしている四つの常任委員会に各6人ずつの24人の定数と考える。

● 彦根市は都市類型Ⅲ・Ⅱで、同じ都市類型の富士宮市、門真市と比較し、22人でもきつちりとした審査はできるということで提案したい。大東市は、思い切った17人だが、審査に不具合を生じているとも聞き及んでおり、それを踏まえ22人。

● 20人を提案する。実質公債費比率が全国的にもワースト30位以内という財政状況が悪化している中、議員定数削減は市民の声とも理解しなければならぬ。議員に係る費用が一人七十万円以上かかり、8人削減で五千六百万円、一期四年で二億三千万円弱の大きな削減ができる。委員会構成においても、議員が能力を遺憾なく発揮すれば、十分可能である。

● 財政面から、議員も切

磋琢磨して能力を高め、審査できるよう、議会としての機能を損なわないように住民の意見を尊重できる体制を持ちつつ、数は極力減らしたい。先進事例からすると17人だが、実地見聞ができていないし、審査に支障が出ていとも聞き及ぶので、結論付けに困る。ただ、本市は都市類型Ⅲ・Ⅱだが、それは幅がある。また、近隣町との合併がある場合、揺り戻しがあり、必ず増えることから20人。

● 財政的な面から20人。仮に28人から20人になれば、議員は28人分の役割を20人で果たす覚悟を持ってやっていく。常任委員会も人数が減るが、一人ひとりの資質を高めながら、役割を拡大していく覚悟を持って削減すればできる。

● 議員定数削減の議論は、市民の声もあって前期からもやってきた。今期になって実質公債費比率が悪くなる状況もあり、削減の一番の理由は財源不足である。民間企業でも財源不足の中では、人件費を減らす方法

が一番だが、あまり極端に減らすと問題が出てくるのではないかと、市民サービスに怠ることになるのではないかと懸念する。地域差や中心市街地空洞化等考えた中で24人が妥当と考える。

以上のような意見が出されたほか、市民の声の受け止め方や他市の状況と本市の状況は若干違うのではとの質疑等に対する応答もなされました。

また、会派に持ち帰り、もう少し議論を深めて、次回に人数を提示できるように本日の委員会で議論されていた20人から24人といった人数の議論の幅を決めたいとの意見も出され、協議をした結果、以前に出された26人も含め、20人から24人、26人という状況で議論された本日の委員会結果を各会派に持ち帰り、議論し、意見をとりまとめた上で、次回の委員会の際に提示いただくことを確認しました。

# 常任委員会 視察報告

市議会では、各委員会がその所管事項について、より深く調査研究し、本市の施策や市政運営に寄与することを目的に、全国の先進都市を訪問し調査研究する視察研修を行っています。  
今号では、7月から8月にかけて実施された3常任委員会の視察状況について報告いたします。

## 市民文教常任委員会

廿日市市では、学校給食について研修しました。小中学校完全給食が実施されており、平成17年には事業費約16億円、調理能力一日9千食の新たな学校給食センターが建設され、ドライシステム化、汚染・非汚染区域の区画、効率的な作業動線による安全で衛生管理の容易な施設づくり、食の教育の向上に積極的な姿勢が見られました。

山陽小野田市では、生活改善・学力向上プロジェクトについて研修しました。「生きる力」の育成を目的に「読み・書き・計算」の基礎

基本の徹底反復を行うモジュール授業を平成18年に市内全小学校で開始され、現在、教育特区として幼稚園、保育園、小学校、中学校で取り組まれています。学力や知能指数の向上に加え、「やればできる」という気持ちを生む効果もあるようであり、参考になるものでした。

下関市と総社市では、ごみ収集有料化等によるごみ減量化について研修しました。両市とも指定袋制による燃やせるごみ、燃やせないごみ等の有料化が実施され数年が経過しております。有料化導入当初、市民には、ごみ処理経費やごみ収集委託経費の一部負担という考えがうまく伝わらず、ごみ

袋代としては高すぎるなどの声が出たが、現在では、おむね理解いただいているとのことでした。有料化の効果は、両市とも導入前と比較し、ごみ収集総量は約2割減少し、下関市ではリバウンドは見られないとのことでした。



## 福祉病院常任委員会

羽島市では、特別養護老人ホーム「美輝苑」のユニット型個室を中心に、家庭的な雰囲気や大事にされた施設を見学しました。

富士市では、重度身体障害者療護施設「くぬぎの里」の運営について研修しました。この施設は障害1・2級の入所施設ですが、最近では交通・スポーツ事故や自傷行為による中途障害の施設利用傾向がみられると強調され、驚きと施設の重みを感じました。

宇都宮市では、日中一時支援事業として「重症障害児者医療的ケア支援事業」が開始されましたが、介護者の疲労回復・軽減を図る事業として、全国的な注目を浴び、大きな期待が寄せられています。担当職員の「利用者施設サービスマンに合わせるのではなく、ニーズに合ったサービスマンを提供する」との言葉が大変印象的でした。

また、「認知症予防の取組」として65歳以上の人が、基本検診と生活機能評価を受



診され、結果によって認知症にならないための指導を受けられるなど参考となる点が多々ありました。

見附市では、「生活習慣病や介護予防など、地域住民の健康維持増進」、「これからの自治体病院の責務と存在価値は、病気になった人を治療するだけでなく、健康な人が病気になるために医学的見地から働きかけること」を目的に「健康の駅」が病院内に設置されていました。病院内設置により、福祉保健センターでは補えなかった保健、医療、福祉に関しての一般市民や外来患者等の各種相談に応じることや関係機関との連携など総合的な支援が可能となったことが大きな利点であり、とても勉強になりました。

産業建設常任委員会

**市民文教常任委員会** 7月22日～24日  
 広島県廿日市市  
 学校給食について  
 山口県山陽小野田市  
 生活改善・学力向上プロジェクトについて  
 山口県下関市  
 ごみ収集有料化等によるごみ減量化について  
 岡山県総社市  
 ごみ収集有料化等によるごみ減量化について

**福祉病院常任委員会** 7月23日～25日  
 岐阜県羽島市  
 特別養護老人ホーム「美輝苑」施設見学  
 静岡県富士市  
 重度心身障害者短期入所施設運営・現状と課題  
 「認知症を知り地域をつくる10か年」取組状況  
 栃木県宇都宮市  
 重度心身障害児・者医療的ケアの対応可能短期入所の取組  
 介護予防事業「認知症予防」の取組について  
 新潟県見附市  
 健康運動事業 見附市立病院内「健康の駅」設置

**産業建設常任委員会**  
 7月30日～8月1日  
 岡山県玉野市  
 職人塾事業について  
 島根県大田市  
 石見銀山の世界遺産登録までの経緯と登録後の観光施策への展開について  
 山口県萩市  
 萩まちじゅう博物館構想・ワンコイントラストと観光施策について

岡山県玉野市は、人口や製造業等に就業する人が減少し続けたため、アンケート調査を実施したところ、団塊の世代の大量退職による中小企業の後継者育成が課題に浮かび上がりました。そのため、技術や技能が失われぬよう「職人塾事業」により、技術等を伝承するための組織づくりをされました。指導者や場所の確保等に苦慮されましたが、この取組は、本市でも多くの産業に応用、活用できるのではないかと感じました。

山口県萩市は、毛利藩政に形成された城下町のたたずまいが、日本で唯一「江戸時代」の地図がそのまま使えるまち」として、その都市遺産、まち全体の建造物を博物館と位置付けた観光地づくり、まちづくりを萩まちじゅう博物館構想として取り組まれ、ワンコイントラスト運動は、行政から支援を受けられない文化遺産の修復等に充て、松下村塾（しようかそんじゅく）の精神が基本となり、まちを良くすることに意欲あるまちであると感じました。



中学校給食実施のための特別委員会を設置しました

決算特別委員会を設置しました

完全給食が実施されていない6中学校においても、安全・安心で質の高い給食の安定的な提供を目的とした事業の実施等に関する諸施策を円滑に進めていくための調査研究を行うための特別委員会を設置しました。

平成19年度彦根市一般会計特別会計の決算審査のため、決算特別委員会を設置しました。

- |    |        |        |
|----|--------|--------|
| 委員 | 佐野 正博  | 北村 収   |
|    | 赤井 康彦  | 成宮 祐二  |
|    | 馬場 和子  | 細江 正人  |
|    | 山田 多津子 | 矢吹 安子  |
|    | 大橋 和夫  | 渡辺 史郎  |
|    | 小川 喜三郎 | 西川 正義  |
|    | 安藤 博   | 徳永 ひで子 |
|    |        | 前川 春夫  |
|    |        | 有馬 裕次  |
|    |        | 夏川 嘉一郎 |

※ ◎委員長  
 ○ 副委員長

決算特別委員会は、10月23日(木)、24日(金)のいずれも午前9時から開催予定です。傍聴もできますので、お越しください。

## 傍聴のご案内

### ○本会議

本会議は、45人まで傍聴できます。希望される方は、会議当日に市役所5階の受付で、受付簿に必要事項を記入して入場してください。身体に障害のある方にも傍聴していただけるよう、車椅子席（3席）と聴覚障害者用磁気誘導無線装置（補聴器などで、音声をはっきり聞き取れる装置）を設置しています。

### ○委員会

常任委員会、特別委員会も傍聴できます。委員会の傍聴は、先着順に9人までです。希望される方は、委員会当日に5階の受付で、受付簿に必要事項を記入して委員会室に入場してください。

開催日程などの詳細は、ホームページでお知らせしていますが、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（TEL0749-30-6130）までお問い合わせください。



## 定例会の流れ

一般的な定例会の流れ

### 本会議（開会日）

- ◇議案の上程
- ◇市長の提案説明

### 本会議（おおむね2日～3日）

- ◇質疑ならびに一般質問  
代表・個人（代表は3月、9月）
- ◇委員会付託

### 委員会

- ◇議案説明
- ◇質疑
- ◇討論
- ◇採決

### 本会議（閉会日）

- ◇委員長報告
- ◇委員長報告に対する質疑
- ◇討論
- ◇採決会
- ◇閉会

- 定例会の初日の本会議で市長から議案の提案説明が行われます。
- 市政全般の質問や議案に対する質疑を行った後、議案の多くは委員会で専門的な審査を行います（委員会付託）。
- 委員会での審査終了後、本会議で委員会での審査状況が報告され、賛成や反対の討論を行った後、採決を行います。

## 編集後記

市民の皆様には身近で信頼される開かれた議会を目指して、今後とも研さんを重ねて参ります。長夜に読書、紅葉を求めて散策、彦根の素晴らしさに出会って秋でありますように。

今号では、7月臨時会および9月定例会の概要を掲載しました。新しく誕生した会派を含む4会派による代表質問を始め、各議員が全力で取り組んだ内容の一端を、限られた紙面の中ではありますが、市民の皆様にお伝えします。

秋の夜長にふと想う、こころの機微つれづれ。記録更新の中での酷暑のひと夏が終わり、虫の音に心癒される季節となりました。開催中の「井伊直弼と開国150年祭」では、市民の提案による事業が次々と開催され、また、彦根の秋のトップシーズンには、盛りだくさんのイベントが予定されています。



井伊直弼と開国150年祭  
彦根市承認No.345

本会議の日程(予定)		委員会の日程(予定)	
開会	12月1日(月)	市民文教	12月11日(木)
個人質問	12月8日(月)	福祉病院	12月12日(金)
個人質問	12月9日(火)	産業建設	12月15日(月)
個人質問	12月10日(水)	総務	12月16日(火)
閉会	12月18日(木)	※開始時刻は	9時30分